

モダンリビング

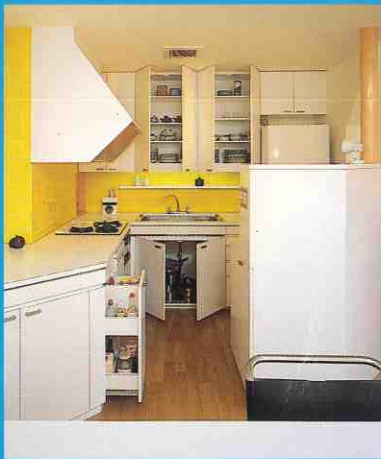
Modern Living No. 93 mar. 1994

婦人画報社

特集

暮らしやすさの工夫と実践

収納と整理



収納計画を成功させた住まい

部屋別中心に考えた

一戸建住宅の収納

限られた空間を有効に活用する

マンションの収納

建築家が提案する収納の手法

デザインか? 機能性か?

収納家具はこう選ぶ

造り付けキッチン vs システムキッチン

本当に使いやすいキッチン収納を探る

スペースを自由に使いこなす

一戸建住宅の収納

リフォームで手に入れる

マンションの完全収納

知って得する

収納情報



「二目瞭然」の整理整頓で、使うための収納が完成



①ダイニングの造り付け収納の引出し。いつだれが開けてもわかるように整理されている。引出しの幅に合うサイズの仕切り付きトレイで細かいものもすっきり。



女優の松居一代さん。ご本人のロマンティックな雰囲気インテリアに反映されて、毎朝8時に起きる掃除を始める、とそれさえも楽しんで語る、本音のきれいな好き。

◀②リビングからダイニングを見る。クラシカルな家具は松居さんが2ヵ月かかって探したものだ。照明の入った奥の造り付け収納を正面から見たのが下の写真。
▼③ダイニングの造り付け収納。ガラスの扉の中はグラスやティーカップが整然と並び、まるでショーウィンドウのディスプレイのよう。両サイドの扉には鏡が入っている。引出しの幅や、棚の高さが少しずつ違っているのは、何をしまおうかを決めてからサイズを計って依頼したから。さすがにピッタリと納まっている。

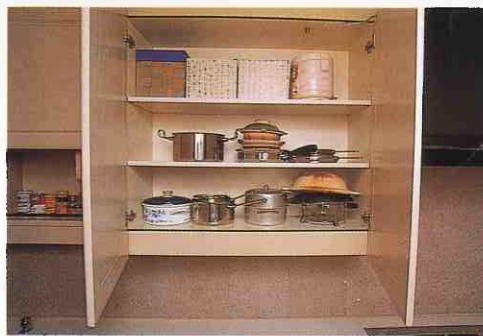




③隅々まで整理の行き届いたキッチン。手持ちの食器などをすべて使いこなすために、このスペースにはこれだけ入る、ということ把握して詰め込みすぎないように収納する。



⑦洗面室の造り付け収納。引出しにはタオルや薬類、棚には化粧品などを納めている。開けたときに一目でわかるように、引出しも棚も一つ一つなるべく小さめに設定しているのがポイント。



⑤冷蔵庫の右隣に組み込まれていた大型の洗濯機を外して食器棚に変更。ユーティリティは別に設けた。探しているときに限って見当たらないことの多い小鉢やちまも一目瞭然。一見無駄の多い並べ方の方だが、物の活用度も高まるし、何より探す手間がかからない。

▲小さめの鍋や土鍋を納めた吊り戸棚は、シンクからもコンロからも近い位置で便利。



⑥冷蔵庫の左側にある食器収納部分。吊り戸棚には小皿や茶碗、足もとの棚にはサイズの似通った皿を。奥のほうにしまい込まれて使わなくなるものがないように、たくさん並べすぎない。来客が多いので、だれが見てもすぐわかるようにしておけば気軽に手伝ってもらえる。間のカウンター部分には電子レンジや炊飯器を。

DATA

設計 中村雅子デザイン事務所
 ☎03-3329-6391
 家族構成 夫婦+子ども1人
 専有面積 132.60㎡(40.18坪)
 改造面積 132.60㎡(40.18坪)
 工事期間 1992年1月～2月(2ヵ月間)
 撮影 熊谷忠宏

クラシック家具でロマンティックに演出された、女優の松居一代さんのマンションです。「何をやるにも、まず周りをきれいに片づけてから。お掃除と整理が趣味なんです」と笑う松居さん。忙しくても常に清潔で快適な空間を維持できるのは収納の工夫によるところが大きいようです。2年前のリフォーム時にも、造り付け収納家具については、引出しの幅を何cmにとり、どこまで細かく依頼し、その中の小物ケースなどは自分で探されたとか。いつもメジャーをバッグに忍ばせていて、外出先でも時間が出来るとこまめにロフトなどのお店をのぞき、収納関係の新製品のチェックを怠らないのだそうです。

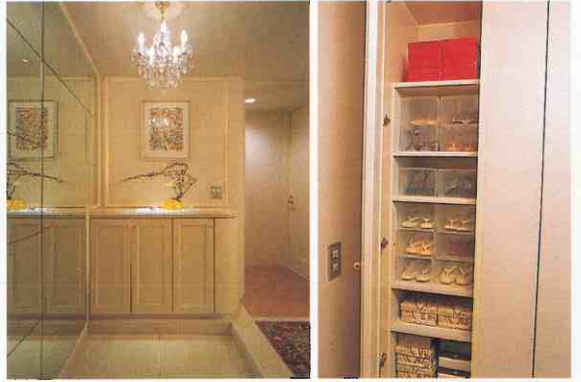
そんな松居さんの収納は、ひと言で言えば「使うための収納」です。お店のディスプレイのような、一見スペースの無駄にも思えるしまい方でも、何がどこにあるのかわからなくて何年も使わなままのものがあるよりずっといいはず。そして各スペースの収納量をしつかり把握し、いつも一定量の物しか持たない。「すべて活用してあげれば、物はきちんとローテーションして活性化するでしょう?」という姿勢に、ただ収納すればいいのではないということを感じさせられます。



① 寝室のウォークイン・クローゼット。奥行25cmの造り付け収納の引出しは「扇子〇本分」「サングラス〇つつ分」の幅でつくられた。扉の中には細かく仕切られたアクセサリケースを。



② 右の写真の靴収納を開けたところ。お店のディスプレイのようにきれいに並べて。たくさん収納できるということ以上に、いかに使いやすく、選びやすいかがポイント。



▲③ 壁面の鏡とシャンデリアで優雅に演出された玄関。床は大理石貼り。
 ▲④ 着物を着る機会が多いので草履の収納も大変。細長いスペースの内側両サイドに合板を取り付けて可動式の棚板が組めるようにし、ちょうど合うサイズの透明なケースをロフトで購入して並べた。外出前の忙しいときでも一目で見渡せるので時間の無駄がない。見るからに使いやすいのだ。



▲⑤ 左の写真の造り付け収納の引出し。衣類は種類によって畳み方を決めているので、いつも一定の幅に仕上がる。そこで引出しの幅もそれに合わせて依頼した。しまう物によって引出しの幅が少しずつ違い、無駄のない収納となっている。
 ▲⑥ 寝室。収納が充実すれば雑多なものが目につかず、美しい家具も引き立つ。



▲⑦ 子供室に置いたチェストの引出しの中をのぞくと、電車のおもちゃが整列していた。なんと3歳の息子さんが、自分なりの決まり事に従ってきちんと整理整頓しているのだそう。本当に立派。
 ▼⑧ 子供室にあるビルトインの壁面収納。布団をしまうスペースの横に、奥行の浅い棚を取り付けておもちゃを並べている。こうしたディスプレイ的な収納は、扉を開けたときの楽しみにもなっている。

